

Costa de Caparica

について



コスタ・ダ・カパリカ

かつて、昔ながらの一漁村であったコスタ・ダ・カパリカ（Costa da Caparica）は、20世紀を迎えると、リスボン（Lisboa）一帯で最大のにぎわいを見せるビーチに変貌しました。その立地と交通の便がよいことから、夏の週末には多くの人々にぎわっています。

25キロメートルにわたって続く砂浜の間には、大勢の人々で混みあう町近くのビーチから、ほとんど人の姿が見られない地域までさまざまな場所があり、好みに応じて選ぶことができます。絵本から出てきたような列車「トランスプライア」（Transpraia）が、途中あちこちの停車駅を経由しながら、ビーチのある町と終点のフォンテ・ダ・テーリャ（Fonte da Telha）を結んで走っています。

無数にあるビーチでは、ある種のスポーツには格好の条件が整っています。例えば、サーフィン、ビーチバレー（そのためのコートもあります）などです。また、多くのパールが、さまざまなレジャー・サポート施設となりながら、ナイトライフの中心ともなっています。

漁業地方であるため、魚料理、ことにカルディラーダ（caldeiradas）（魚のシチュー）はこの地域を代表する特別料理です。毎年開催されている料理の祭典は、魚料理の祭典となっています。